



俊友会管弦楽団

ブラームス
大学祝典序曲 作品80
Brahms: Akademische Festouvertüre, op.80

メンデルスゾーン
交響曲第3番 イ短調
「スコットランド」 作品56
Mendelssohn: Symphonie Nr.3, a-moll, 'Schottische', op.56

ドヴォルザーク
チェロ協奏曲 ロ短調 作品104
Dvořák: Violoncello Konzert, b-moll, op.104

※曲目・曲順は都合により変更する場合がございます。

*The 60th Subscription Performance of
Shun'yukai Symphony Orchestra*

指揮: 御法川 雄矢
チェロ: 林 峰男
管弦楽: 俊友会管弦楽団

2018

11.4日

開場13:00/開演14:00

江東区江東公会堂
ティアラこうとう
大ホール

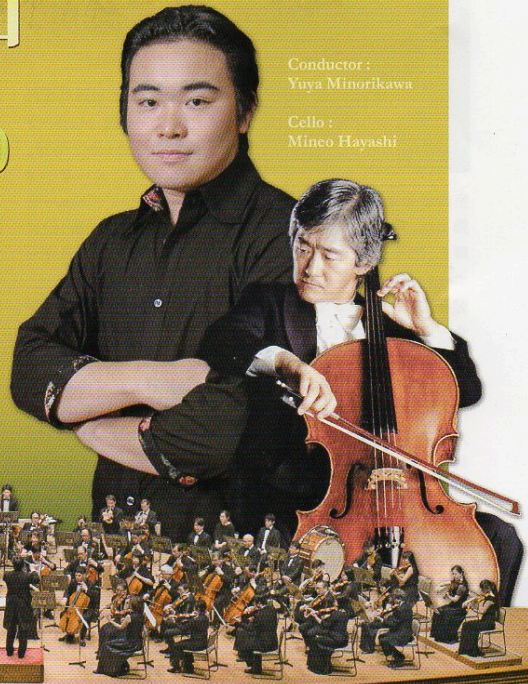
〒135-0002 東京都江東区住吉2-28-36
☎03-3635-5500(代)
(都営地下鉄新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉」駅 A4出口より徒歩4分)

全席指定 S席3,000円/A席1,000円

第60回定期演奏会

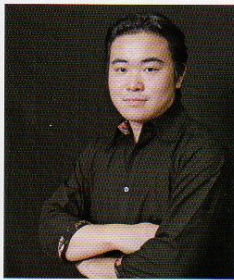
Conductor:
Yuya Minorikawa

Cello:
Minco Hayashi



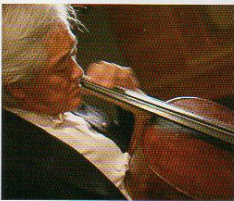
開場後、13:20頃からウェルカムコンサートを行います。

チケット発売日:2018年5月30日(水)/チケット取り扱い:チケットぴあ ☎0570-02-9999(Pコード:118-837) <http://t.pia.jp>
お問い合わせ:俊友会管弦楽団事務局(藤原) ☎03-3955-4072/主催:俊友会管弦楽団/協力:ロイヤルチェンバーオーケストラ



指揮 御法川 雄矢 *Yuya Minorikawa*

10歳よりヴァイオリンを始め、その後、ヴィオラに転向し1996年、桐朋女子高等学校音楽科入学と共に指揮をはじめ。1999年、桐朋学園大学音楽学部入学。在学中よりロイヤルチェンバーオーケストラのメンバーとして参加する他、2000年よりバンドネオン奏者小松亮太氏のライブ、レコーディングに参加する。2001年3月には、「フランス・ブーランクの世界」(浜離宮ホール)で仮面舞踏会を指揮し、池田智之、故 田中雅仁らと共演する。また同年12月には、大学4年の若さで貞松・浜田バレエ団特別公演「くるみ割り人形(全幕)」にて関西フィルハーモニー管弦楽団を指揮し、デビューする。またピアニストの村上弦一郎氏と共にGEN室内管弦楽団を立ち上げる。2003年桐朋学園大学音楽部を卒業。2004年GEN室内管弦楽団ヨーロッパツアーを成功させる。2005年1月札幌商工会議所主催「くるみ割り人形(全幕)」を指揮する。同年2月、小松亮太&オルケスタ・ティピカにて南米ツアーに参加。9月には貞松・浜田バレエ団「眠れる森の美女(全幕)」にて大阪シンフォニー交響楽団を指揮。12月には井上バレエ団「くるみ割り人形(全幕)」にてロイヤルメトロポリタン管弦楽団を指揮。メインシアター開館20周年記念事業「吹田市民バレエ」くるみ割り人形(全幕)」にて関西フィルハーモニー管弦楽団を指揮する。2007年エレメンツ・クォルテットを結成し東京、北海道にてデビュー公演ツアーを行い高い評価を受ける。2009年2月NHK交響楽団入団。2011年8月エレメンツ・クォルテット台湾公演を行い地元メディアにも大きく取り上げられた。2010年には急遽、堤俊作氏の代役として静岡交響楽団第44回定期演奏会を指揮し成功を収める。2012年2月第33回全道バレエフェスティバルインサッポロ「ラ・シルフィード(全幕)」で札幌交響楽団を指揮する。同年5月後友会管弦楽団第49回定期演奏会、2014年10月第53回定期演奏会を指揮しピアニスト青柳晋氏と共演し好評を博す。同年10月ハーモニーホール座間・日本の名作曲家シリーズVol.1「富田勲の世界」で源氏物語幻想交響絵巻(2014年完全版)を初演し大成功を収め富田氏から絶大な信頼を受ける。(ロイヤルメトロポリタン管弦楽団)指揮を故 堤俊作、ヴァイオリンを市川映子、ヴィオラを故 江戸純子、室内楽を故 青木十良、各氏に師事する。現在、NHK交響楽団ヴィオラ奏者、21世紀の吹奏楽「響宴」会員、ロイヤルチェンバーオーケストラ、GEN室内管弦楽団、ヴィルトゥオーゾ横浜、小松亮太オルケスタ・ティピカ、エレメンツ・クォルテット、昴21弦楽四重奏のメンバーとしての活動の他、レコーディングなどスタジオミュージシャンとしてなど幅広く、積極的に活動している。



チェロ 林 峰男 *Mineo Hayashi*

桐朋学園にて斎藤秀雄氏に師事。その後、ジュネーブ音楽院を第1位で卒業。翌年スイス、ローザンヌ室内管弦楽団のソリストとしてヨーロッパにおいてデビューを飾った。75年、ベオグラード国際チェロ・コンクール第1位に輝く。76年には、ワシントンD.C.とニューヨークのカーネギーホールでリサイタルを開き、アメリカ・デビューを果たした。翌年には、スペインで開催された「カザルス生誕百年記念コンサート」に招待され、日本を代表するチェロ奏者として高く認知された。数々のオーケストラと共演する一方、室内楽、リサイタルなど数多くの演奏会を、世界各国で開いている。これまでにスイス・ロマン管弦楽団、ザグレブ・フィル、新日本フィル、大阪フィル、ロイヤルメトロポリタン管弦楽団等のオーケストラと共演している。現在、スイス在住。日本では、コンサートのほか国際スズキ・メソード音楽院教授を務めるなど、後進の指導にも力を注いでいる。

管弦楽 俊友会管弦楽団

*Shunyuukai
Symphony Orchestra*

俊友会管弦楽団は1983年に結成され、2012年1月のバレエ公演まで一貫して故・堤俊作の「音楽にはプロもアマもない」の精神の下で、研鑽を積んできた。結成以来59回の定期演奏会に加え、9回の特別演奏会やウィーン楽友協会大ホールでの記念公演などの活動を展開している。皇太子殿下を名誉団員としてお迎えし、6回の定期演奏会にご出演をいただいている。マーラー「千人の交響曲」、シェーンベルク「グレの歌」、メシアン「トゥランガリラ交響曲」等、普段アマチュアオーケストラで演奏する機会の少ない大曲に挑戦していることに加え、シューマンの歌劇「ゲノヴェーヴァ」全曲を演奏会形式で日本初演している。2007年からは日本バレエ協会関東支部神奈川ブロックの自主公演に参加し、チャイコフスキーの「眠りの森の美女」「白鳥の湖」「くるみ割り人形」をはじめ、プロコフィエフの「シンデレラ」、ミンクスの「ドン・キホーテ」等、いずれも全幕の演奏をしている。堤俊作の得意としていたバレエ曲の演奏には定評があり、演出・振付の諸先生方からの信頼を得ている。また、2015年には堤俊作が足跡を残したKitaraホールでの演奏会を企画し、多くの関係者の皆様から支援、協力を得て、2017年11月 特別演奏会・札幌公演を実現している。公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟加盟団体として、社会貢献事業に継続的に取り組んでおり「東京2020」に向けて意欲的なプログラムを企画している。



江東区江東公会堂 ティアラこうとう 大ホール

東京都江東区住吉2-28-36
☎03-3635-5500(代)
都営地下鉄新橋線・東京メトロ半蔵門線
「住吉」駅 A4出口より徒歩4分

次回公演

トヨタコミュニティコンサート in 東京 俊友会管弦楽団特別演奏会

2019年5月12日(日)14時30分開演(予定)
文京シビックホール

プロコフィエフ:バレエ「ロメオとジュリエット」全幕